

HyperTerminal の使用方法

Version: A00



エイチエムエス・インダストリアルネットワークス株式会社

〒222-0033

神奈川県横浜市港北区新横浜 3-19-5

新横浜第2センタービル 6F

TEL : 045-478-5340

FAX : 045-476-0315

URL

www.anybus.jp

EMAIL

セールス:jp-sales@hms-networks.com

サポート:jp-support@hms-networks.com

EVOLUTION OF THE DOCUMENT	3
1. HYPERTERMINAL のインストール	4
2. ANYBUS X-GATEWAY とパソコンの接続.....	4
3. HYPERTERMINAL の実行	5
4. ANYBUS X-GATEWAY との通信開始	7

EVOLUTION OF THE DOCUMENT

Issue	Date	Author	Motive and nature of the modifications
A00	2011/12/22	TAS	First release.

This document contains: 8 pages.

1. HyperTerminal のインストール

Anybus X-gateway のコンフィグレーションにはターミナルエミュレータを使用する作業が必要ですが、Windows XP 以前は標準でインストールされていた Microsoft HyperTerminal が Windows Vista 以降は標準インストールされなくなりました。そこで HMS では Web ページにおいてダウンロード可能なバージョンの HyperTerminal をお客様に提供しています。

HMS が提供している HyperTerminal は以下の URL からダウンロードすることができます。

<http://www.anybus.com/upload/X-gateway%20and%20HyperTerminal.zip>

ダウンロードしたファイルを解凍し、任意のフォルダに配置して下さい。
解凍したファイルの内容は以下の 4 個のファイルです。



hypertrm.dll
5.1.2600.2180
HyperTerminal Applet Library



hypertrm.exe
HyperTerminal Applet
Hilgraeve, Inc.



Readme.pdf
Adobe Acrobat Document
298 KB

この HyperTerminal にはインストーラは付属していません。解凍したファイルをそのまま実行ファイルとして使用します。

2. Anybus X-gateway とパソコンの接続

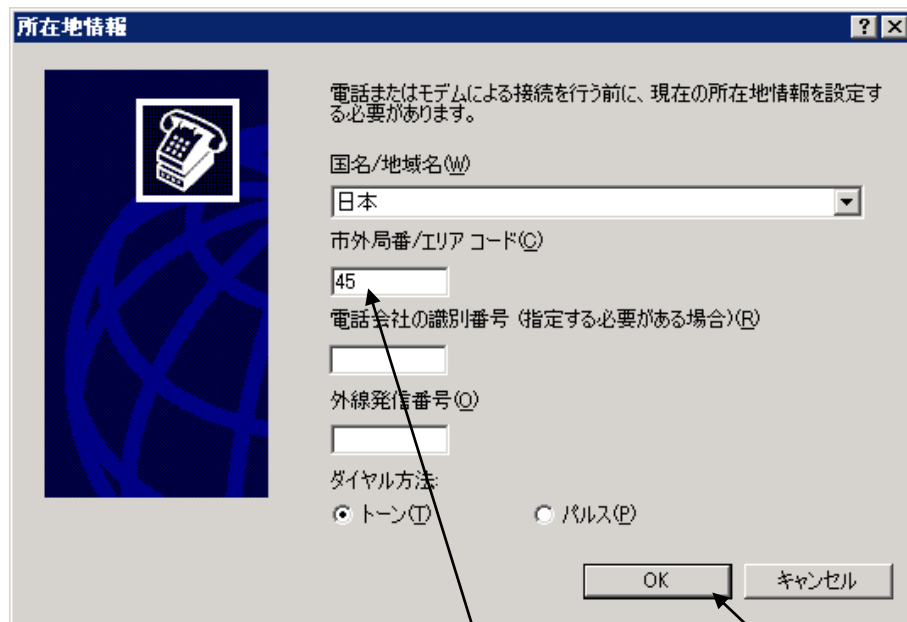
Anybus X-gateway 本体の Gateway Config コネクタとパソコンのシリアルポートコネクタを RS-232C クロスケーブルで接続して下さい。Gateway Config コネクタの位置は Anybus X-gateway の機種によって異なりますので本体の表示又はユーザーマニュアルでご確認下さい。

接続後、Anybus X-gateway に DC24V 電源を供給して下さい。

3. HyperTerminal の実行

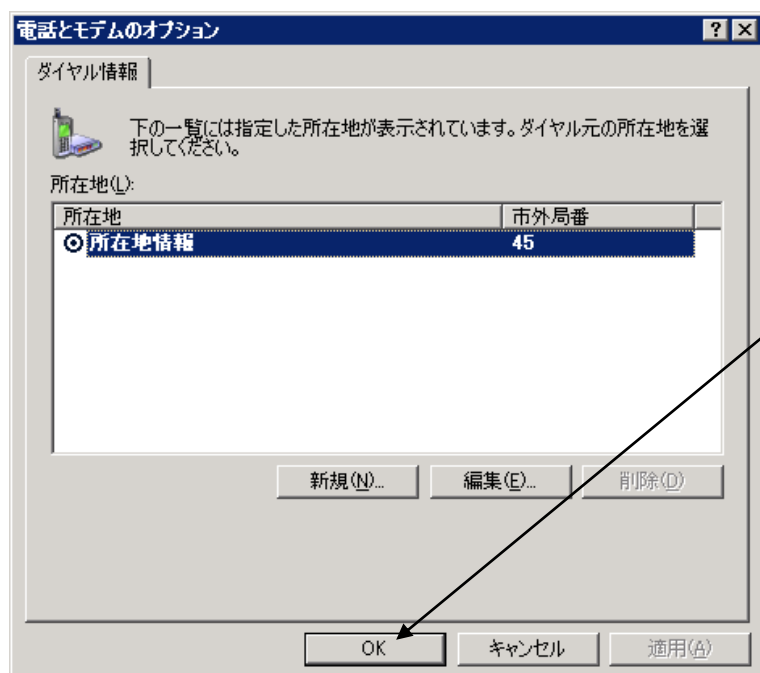
1 項で解凍したファイルの中に「Anybus X-gateway.ht」というファイル名の Anybus X-gateway 接続用設定ファイルが含まれています。Anybus X-gateway に接続するために HyperTerminal を起動する場合はこのファイルを使用します。「Anybus X-gateway.ht」を開いて下さい。

お客様がお使いになられている Windows に「所在地情報」が未登録の場合には以下のようなダイアログが表示されます。

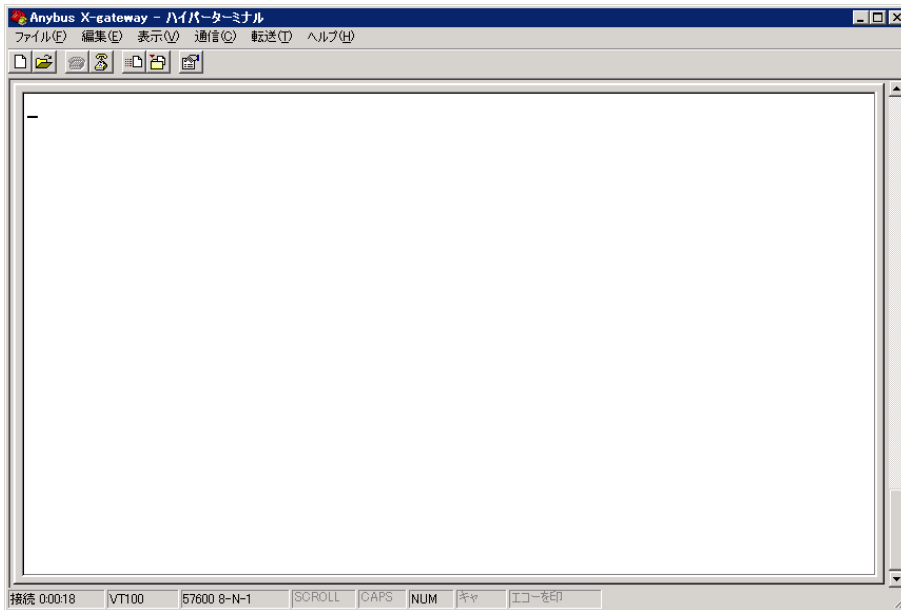


この「所在地情報」は Anybus X-gateway との接続には使用しませんが、HyperTerminal の起動には必要な設定です。ここでは市外局番のみ入力して OK ボタンを押します。 (“45”は弊社日本オフィスの所在地である横浜の市外局番です。)

所在地情報ダイアログを閉じると、以下のようなダイアログが表示されますので OK ボタンを押して下さい。



続いて HyperTerminal のメインウィンドウが開きます。

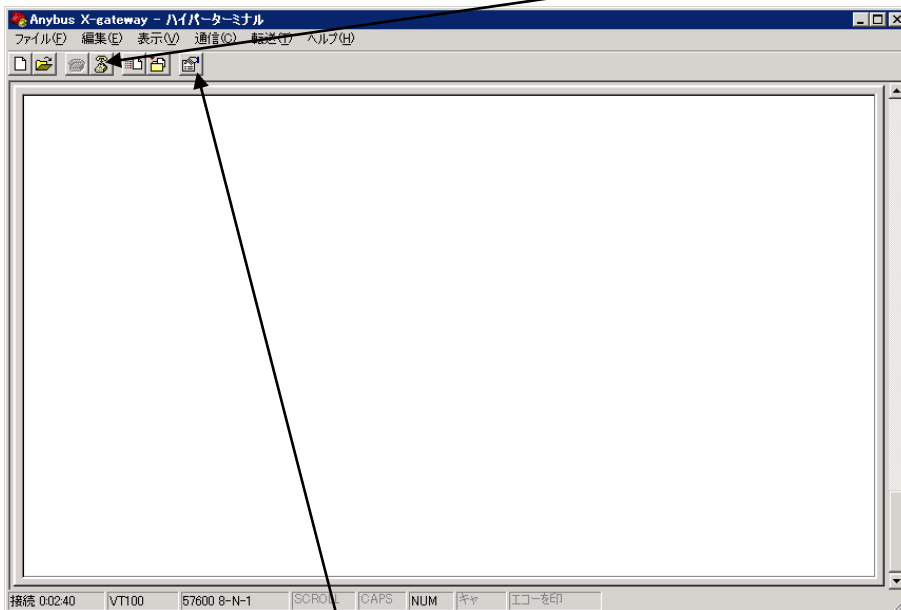


「Anybus X-gateway.ht」を使用したことにより Anybus X-gateway に接続するための通信パラメータが予め設定されています。

COM ポート	:COM1
通信速度	:57600 bps
データ長	:8 bits
パリティ	:なし
ストップビット	:1
フロー制御	:なし

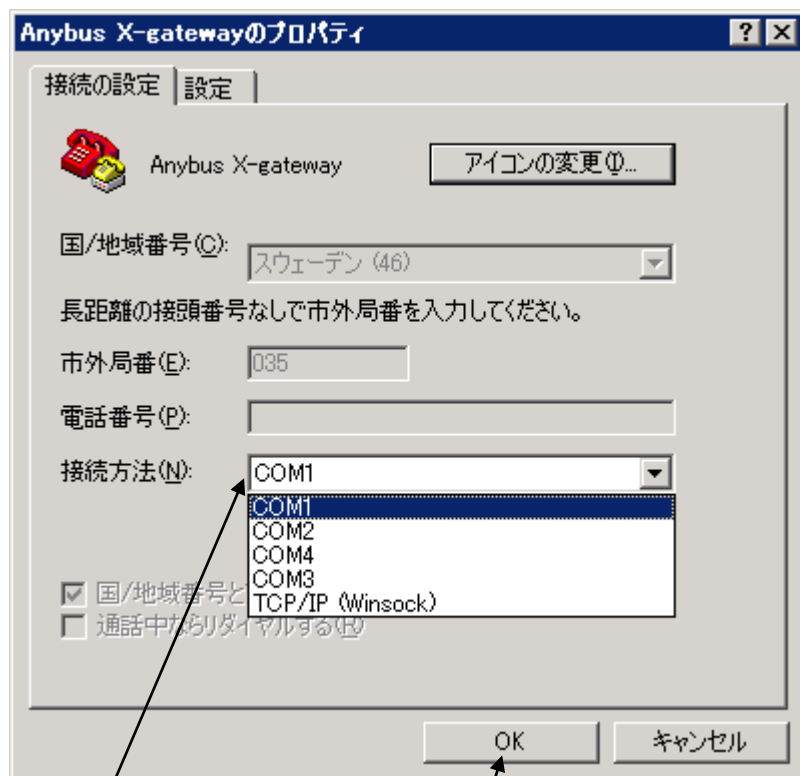
但し、この初期設定では使用する COM ポートが COM1 に設定されていますので Anybus X-gateway を接続するポートが COM1 でない場合は変更が必要です。

使用する COM ポートを変更するには、まず切断ボタンを押して通信を切断します。



通信切断後、プロパティボタンを押して下さい。

プロパティボタンを押すと下図のようにプロパティダイアログが表示されます。

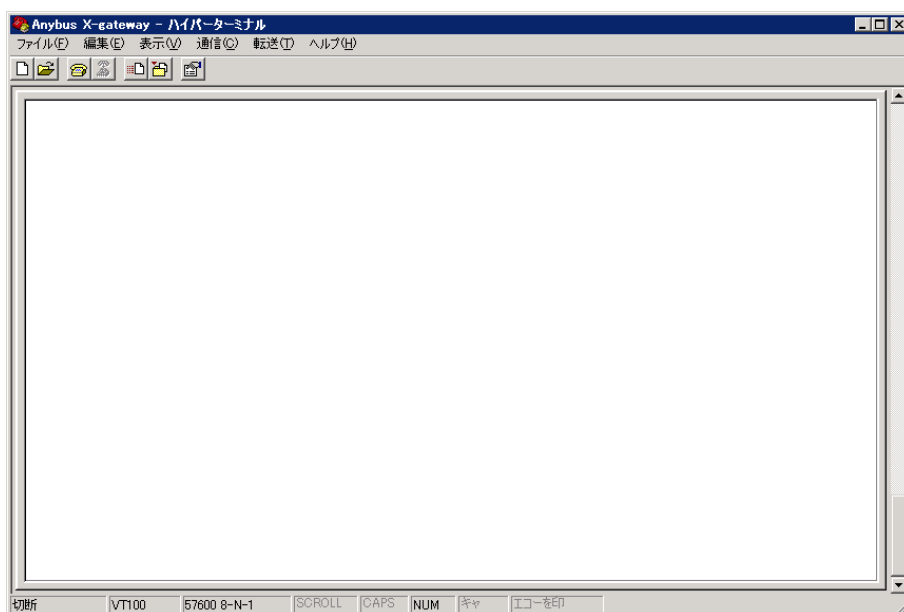


接続設定が初期設定の **COM1** になっていますので、お客様の環境に合わせて **COM** ポートを選択して下さい。設定完了後、OK ボタンを押してプロパティダイアログを閉じて下さい。

4. Anybus X-gateway との通信開始

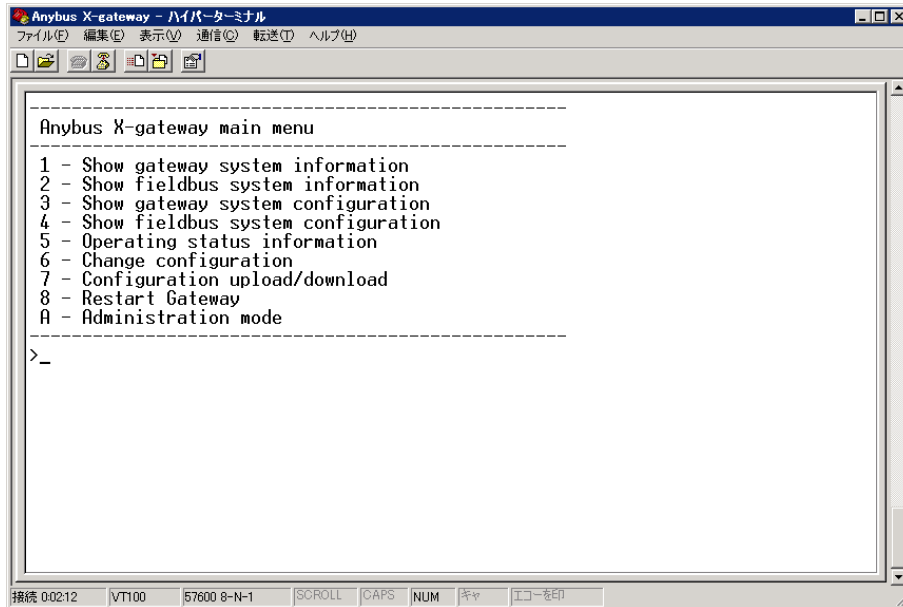
ここまでで HyperTerminal を使用するにあたって必要な設定は完了しましたので、Anybus X-gateway との通信を開始します。

3 項で **COM** ポートを変更するために通信を切断した場合も切断していない場合も、ここからの手順は同じです。



上図の状態で **ESC** キーを押して下さい。

ESC キーを押すと下図のように Anybus X-gateway 設定用のメインメニューが表示されて通信が正しく開始されたことが確認できます。



以上

本ドキュメントに記載されている会社名、システム名、製品名は各社の登録商標または商標です。なお本文では「™」、「®」は明記しておりません。